新人研修検討チームの報告と学会発表の実績報告です！

新人研修検討チームの報告

☆新人研修検討チームとは？

新人さんに、自分で考え相談し一年後には一人で仕事をまかせられ、みんなに認めてもらえるセラピストになっていただくことを目標に様々な活動をしているチームです！^-^

「マニュアル」や「チェックリスト」、「自己・他者評価」などのツールを作成し、それを土台に先輩としてどのような手助けができるかを検討しています。

☆具体的にどんなことをしているの？

・新人さんの教育スケジュール（年間・月間・週間）
・新人さんの業務遂行状況、担当患者さんの進行状況の確認。
・新人さんの業務指導者・共診者に対する指導状況の確認。
・新人さんに対する研修プログラム・マニュアルの作成。
・症例発表の形式・目標の統一。
・研修プログラム・マニュアルの妥当性の検討。
・社会人としてのマナー・モラルなどの評価。
・セラピストとしての評価。

☆今後どのように新人さんをバックアップしようと考えているの？

・リハ課全体として報連相ができるような指導・環境づくりを徹底する。
・患者さんや他職種と「共に考える」ことができるよう、先輩セラピストが見本となる。
・入院→退院→在宅生活が想像できるよう症例発表などの場でアドバイスしていく。
・担当症例に応じて先輩セラピストとともに家屋評価・サービス担当者会議に参加してもらう。
・症例発表などを通じて成長過程を追っていく。
・得意なところは活かし、不得意なところはリハ課全体としてフォローしていく。

☆先輩は後輩の良いところを見ています！^^ 去年一年間を振り返って、後輩セラピストの良かったこと、成長したと思うところを教えてください！

N さん：信念を持って先輩にも意見を言えるようになってきました。業務も丁寧にきっちりとこなせていると思います。
I さん：他職種とのコミュニケーションが上手になってきて、ナースさんにも病棟で実施してほしい事を伝えられるようになってきています。
P さん：人の意見を聞いて自分の身となるように理解しようとしています。
T さん：過去の経験を活かし現在の問題点を解決しようと努力しています。
※P さん、T さん共に相談ができるセラピストになりました。

学会発表の実績報告

☆昨年度、当院からは以下のような学会発表を行いました。

「訓練拒否を示した症例への関わり　～作業療法導入時の工夫と他職種との連携による効果～」

訓練拒否を認めた症例に対し、作業療法を行った結果、定期的な訓練が定着し日常生活の能力を改善することが出来ました。これは、作業療法導入時の工夫と他職種との連携による効果と考えました。
経過を振り返りと工夫と連携について発表しました。

発表者：野洲洋子[1）2）]　兼田敏克[2）3）]　西川智子[4）]　高畑進一[4）]

所　属：１）特定医療法人有隣会東大阪病院リハビリテーション科
２）大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科
３）医療法人篤友会関西リハビリテーション病院リハビリテーション部
４）大阪府立大学総合リハビリテーション学部作業療法学専攻